
プリクラ。

ゆいか

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
プリクラ。

【Nコード】
N3408Z

【作者名】
ゆいか

【あらすじ】

初めて書いた詩みたいな感じのです。

「別れよう。」

なんで今日なの？

なんで2人の記念日なの？

もう、忘れちゃったの？

君が私のこともうなんとも思っていないなんて、

ずっと前から気づいてたよ。

それでも一緒にいたかったから、

泣くのも、わがままも、怒るのも、

全部我慢してたよ？

君に恋をした。

私は恋に落ちた。

物も景色も香りも場所も、

私にとっては全て君だった。

何をしてても君の影が残ってて、

今でも胸が苦しいよ？

初めて君と撮ったプリクラ。

恥ずかしくってうまく笑えなかったけど、

間違いなく2人は笑ってて。

それは今でも変わらずにケータイの裏に貼りついてる。

そして、今でも笑ってる。

なのにあの頃より悲しげで、傷だらけ。

それでも君が今笑ってるなら、

私は笑顔のない幸せ。

鳴らないケータイは抜け殻のように固まっている。
耳をすり抜けていく音楽はただ私の泣き声を消している。

明日には笑える。

それは嘘かもしれない。

それは強がりかもしれない。

それでもいい。

君で私はたぶん強くなれる。

もう一枚の君とのプリクラは

電池パックのカバーの裏で、

今も無傷で笑ってる。

涙が出そうでも、

それは上を向いて歩けって

私の中の私が次の恋へ後押ししてくれてる証。

ありがとう。

さよならが言える私にしてくれて。

大好きでした。

(後書き)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3408z/>

プリクラ。

2011年12月11日18時56分発行